

13番	中川昌也 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 骨髄移植ドナー支援事業及びドナー登録啓発について</p> <p>【質問趣旨】 我が国では、毎年約3千人が骨髄移植を必要としている中、その約4割の患者が移植できず、数多くの尊い命が失われていると言われております。骨髄移植が受けられれば、これからの社会で活躍できていたはずの尊い命が失われることは、社会の損失でもありますが、こうした実情は、骨髄等の提供をされる市民が休暇を取得する際の経済的な不安や、勤務先における支援制度が未整備であることが指摘されています。</p> <p>(続く)</p>	<p>(1) 骨髄等の移植と骨髄バンク登録の現状と課題について</p> <p>(2) 骨髄バンク登録者への支援制度実施の可能性について</p>	<p>① 瀬戸市の骨髄バンク登録者数をどのように把握しておられるのか伺います。</p> <p>② 骨髄等の移植と、骨髄バンク登録者数を増やす啓発活動に関する瀬戸市の現状の認識について伺います。</p> <p>③ 骨髄バンク登録（ドナー登録）に関する教育現場での取り組みや実績について伺います。</p> <p>④ 他の自治体と比べて、瀬戸市の啓発活動が遅れているように見える課題は何か伺います。</p> <p>① 他の自治体を実施している骨髄バンク登録（ドナー登録）への支援制度（他の自治体の制度や実績等）の現状について、瀬戸市はどのように認識されているのか伺います。</p> <p>② 瀬戸市が骨髄バンク登録（ドナー登録）への支援制度を実施していない理由について伺います。</p> <p>③ 瀬戸市の社会保障制度の充実策として、今後、骨髄バンク登録（ドナー登録）への支援制度が必要と考えているのか伺います。</p> <p>④ 今後、瀬戸市が他の自治体と同様の骨髄バンク登録（ドナー登録）への支援制度を実行しようとする場合の課題は何か伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

13番	中川昌也 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>いまこそ、骨髄等の移植および骨髄バンク登録（ドナー登録）の更なる推進を図る政策を実行に移し、白血病患者等が速やかに骨髄移植を受けられる社会システムの実現が不可欠であると考え、早期に実現できる政策の可能性について市の見解を伺います。</p>	<p>(3) 骨髄バンク登録の新しい啓発活動と瀬戸市独自の取り組みについて</p>	<p>① 今後、骨髄バンク登録者数（ドナー登録者数）を増やすためには、どのような政策や啓蒙・啓発活動が必要と考えているのか伺います。</p> <p>② 骨髄バンク登録（ドナー登録）への支援制度だけでなく、啓蒙・啓発活動も重要と言えますが、そうした取り組みに関して、これまでに実行してこなかったことについての考えを伺います。</p> <p>③ 骨髄等の提供をされる市民が休暇を取得する際の経済的な不安を解消する制度だけでなく、提供者が勤める企業への働きかけを行政が行うことも大切と考えますが、働きかけの可能性について伺います。</p> <p>④ 骨髄バンク登録（ドナー登録）への支援は、住みやすいまちを掲げている瀬戸市の売りの1つになると考えます。そうした意味で、自らが率先していく姿を市民のみなさんに示すということも大切な政策推進の姿勢と考えますが、瀬戸市職員及び関係団体の職員の骨髄バンク登録者数（ドナー登録者数）や、提供実績を把握されているのか伺います。</p> <p>⑤ これまで提案してきた骨髄移植ドナー支援事業及び、骨髄バンク登録（ドナー登録）に関する啓蒙・啓発活動は、社会全体で困っている人達を支える、新しい社会保障制度の1つの提案だと考えています。そこで、こうした新しい政策の実現について見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。